

○西比利亞鐵道 西比利亞鐵道ノ建設ハ實ニ世界ノ大工事ニシテ露國ガ其竣工ニ熱中スル
 一ハ普ネク世人ノ知ル所ナレモ其工事ノ進歩ニ就テハ之ヲ明知スル者極メテ少シ左レバ該
 工事ノ現況ト其竣工后ニ得ラルベキ効績トヲ記スルハ讀者ニ興味ヲ與フルニ足ルベシ

(一)線路 西比利亞ハエニセイ河(Yensai)ヲ境トシテ東西比利亞ト西比利亞トノ二部ニ分
 タレ西比利亞鐵道ノ西端ハ西比利亞ノチエリアビンスク(Tschelyabinsk)ニシテ茲ニ歐露ノ
 鐵道ト接續シ是ヨリ東進シテクラスノヤルスク(Krasnoyarsk)ニ達ス是レ既成鐵道ノ東端ナ
 リ此地全西比利亞ノ中心ニシテエニセイ河洑ニ臨ミチエリアビンスクヲ距ル一二千六百
 五十四キロメートル千六百四十八哩露京聖彼得堡ヲ距ル一四千九百十九キロメートル三
 千五十七哩トス線路ハ更ニ東進シイルクツク(Irkutsk)ヲ經テネルチンスク(Nertschinsk)ト云
 ヘル地ニ達ス此地舊新兩線路ノ分ル、所ニシテ舊ハ黑龍江ニ瀕スルチヤラボウスク(Char-
 abowsk)ニ至リコ、ニ南折シテグラウスカヤ(Grawskaya)ヲ經過シ幹線ノ東端タル浦鹽(Wladiv-
 ostok)ニ達スルモノニシテ地圖ハ此舊線路ヲモ舉示スレモ露國ハ支那ノ許諾ヲ得テ路ヲ滿
 州ニ假ルフトセリ此新線路ハ千六十九キロメートル(六百六十四哩)ヲ短縮スルノ利アルノ
 ミナラズ滿州ニハ人口稠密ニシテ天產物ニ富ミナガラ工業ノ開ケザル地方アルヲ以テ此
 地方ニ商業的交通ヲ開クノ利アリ然レモ此線路ハ最後ニ竣工スベク又地圖ニ示ス如ク奉
 天旅順北京朝鮮ト連絡シ以テ支那并朝鮮ヲ文明世界ニ連繫スルナラン

(二)工事 前已ニ記セシ如クチエリアビンスクトクラスノヤルスクトノ間ハ工事已ニ落成
 シ又浦鹽グラウスカヤ間モ已ニ竣工開通シ之ヨリチヤラボウスクニ至ル迄ハ若シ未ダ竣

工セザレバ間モナク竣工スルナラン其他ハ未成線路ナルガ露國政府ハクラスノヤルスク
 ヨリイルクツクニ達スル工區ノ竣工ヲ取急ギ其線路ト附帶工場トニ七万人ニ下ラザル人員
 ヲ使役シ居レバ明年夏迄ニハ開通スベシト思ハルイルクツクハ大約五万ノ人口ヲ有シ西
 比利亞ノ最大都府ナリトス

西北比利亞鐵道工事ニ使役セル工夫ヲ國別スレバ西部ニ於テハ露國人、西北比利亞人、伊多利人
 東部ニ於テハ所刑人、支那人及朝鮮人ナルガ所刑人ノ誠實ニ勞働スル者ニハ其刑期ヲ短縮
 スルノ恩典アルヲ以テ所刑人ハ最良ノ工夫ナリ又技士ヲ養成スル爲鐵道線路ノ三大市ニ
 工業學校ノ設ケアリ

本鐵道工事ノ困難ハ西北比利亞ニ於ケル河川ノ概ネ北ニ流ル、ヲ以テ鐵道ハ其大半ヲ通過
 セザルヲ得ズ隨テ多數ノ架橋ヲ要スルナリ又イルクツクノ東ニバイカル (Baikal) ト稱スル
 湖アリテ鐵道線路ヲ橫斷セリ地圖ノ示ス所ニヨレバ鐵道ハ其南岸ニ迂廻スル豫定ナリシ
 ガ如シト雖此地方ニハ山岳多ク爲ニ工事ヲ遲延セシムルノミナラズ工費ヲ嵩ムルノ患ア
 ルヲ以テ列車ヲ一種ノ渡船汽船ニ載セ湖上二十哩ヲ渡ストナレリ米國ニ於テハ此法己
 ニ行ハレ六十哩ノ長距離ヲ渡ルモ毫モ故障アルコトナシ

(三) 工費 千八百九十六年ト翌九十七年(本年)トノ工費豫算ヲ視レバ露國ガ此鐵道ニ重キヲ
 置クノ如何ヲ知ルニ足ラン千八百九十六年ノ豫算ハ幹線築造費八千二百二十四万八千百
 七十(ルーブル)約四千五百万弗支線築造費二百四十八万五千四百七十(ルーブル)約百三十五万
 弗外ニ車輛費二千(ルーブル)約千(百万弗)アリテ其大半ハ幹線ニ充用セラレシヤ明確ナリ

次ニ千八百九十七年ノ豫算ハ六千四百十二万四千百十(ル)ブル(約)三千三百五十万弗ヲ幹線
 築造ニ三百二十八万六千五百五十二(ル)ブル(約)八百八十万弗ヲ支線築造ニ充用スルノ豫定ナ
 リ工費總額ハ三億五千万(ル)ブル(約)一億九千万弗全延長七千三百十七(キロ)メートル(四)千
 四百四十八哩ニシテ内二千六百五十四(キロ)メートル(千六百四十八哩)ハ已ニ竣工シタルナ
 リ加奈陀大洋鐵道ノ全延長ハ四千九百十五(キロ)メートル(即チ三千五十五哩)ナレバ西比
 利亞鐵道ノ幹線ハ千三百九十三哩程之ニ超過スルナリ而シテ全線路ノ竣工ハ本世紀ノ終
 末明治三十三年末前ニ在ルベシ

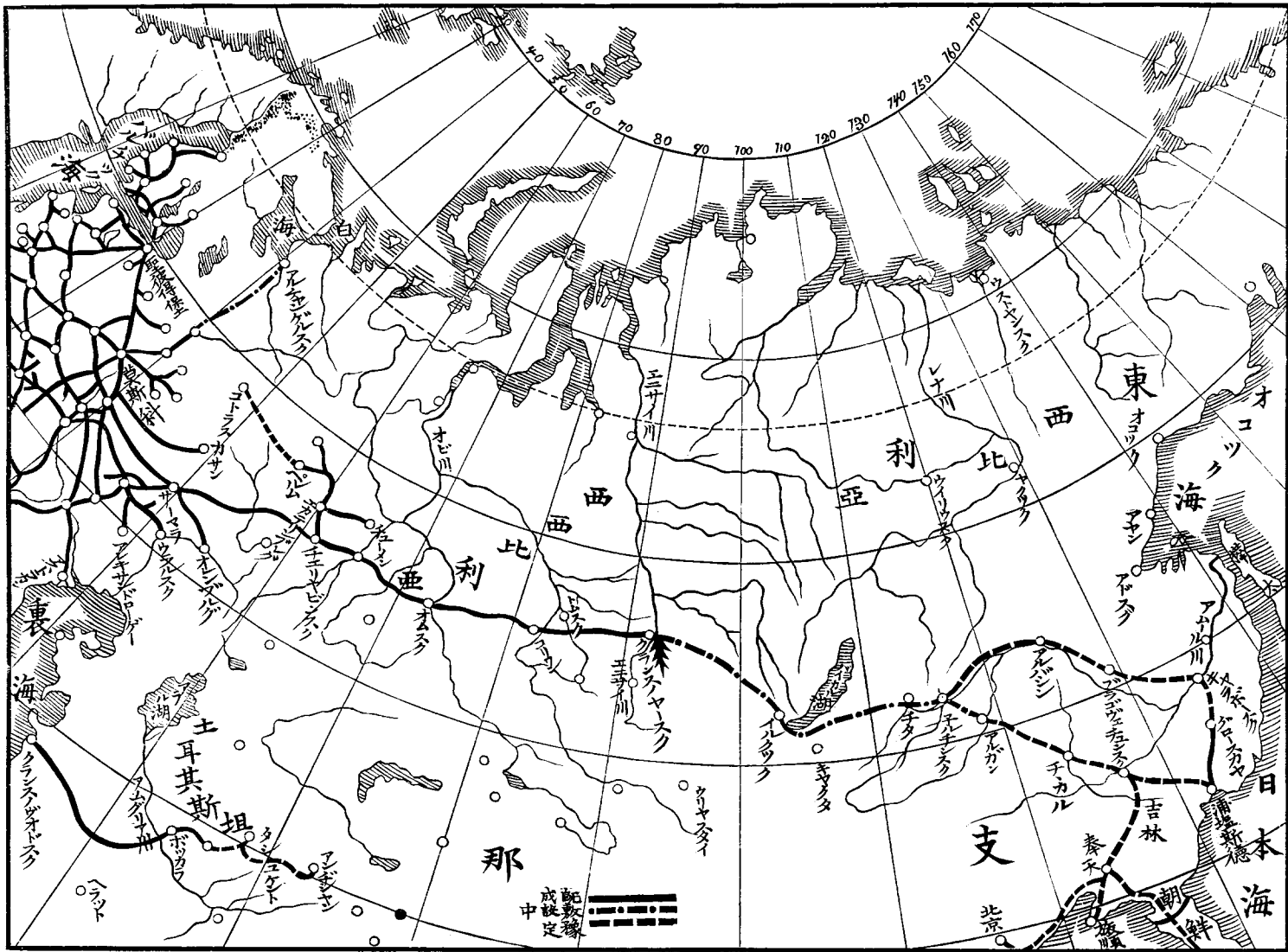
(三)効驗 露國ガ此大工事ヲ計畫シタルハ主トシテ軍事上ノ考慮ニ出タレモ商業ノ發達
 モ亦重要ナル原因タリシヤ疑フベカラズ此鐵道ノ開通シタル曉ニハ露國并ニ西比利亞ハ
 互ヒニ其產物ヲ交換スルノ便利ヲ得テ大ニ利スルヲ勿論ナレモ亦絶東ノ貿易ニ變動ヲ起
 スヤ必セリ是レ從來蘇士運河ヲ通過シテ支那日本へ輸送シタル物ハ此鐵道ニ由テ輸送セ
 ラルベケレバナリ

支那日本朝鮮ノ人口ヲ合スレバ約四億六千万ノ大數ナレモ割合ニ外國貿易ハ發達セズ支
 那ニハ人口稠密ニシテ事實上外人ニ閉鎖セル内地ニ乏シカラザルガ支那ガ悉ク海港ヲ開
 放シ又内地ノ諸港ヲ開放シタル曉ニハ右ノ内地モ外國貿易ヲ拒絕セザルベシ前已ニ述ベ
 タル如ク西比利鐵道ハ滿州ヲ通過スベク支線ハ他ノ州ニ達スベク特ニ旅順港ニ達スル線
 路ハ眞先キニ築造セラル、ナラン支那ノ重要輸出品ハ茶及絹ニシテ其重要輸入品ハ毛絲
 并毛織物ト綿絲并綿布ナリ英國ハ支那茶ノ大半ヲ輸出スル國ナルガ同時ニ支那茶ト競争

シテ之ヲ壓倒シタルナリ是レ印度并ニ錫蘭茶ハ自國ノ需要ヲ充タスノミナラズ之ヲ他ノ文明國ニ輸出スレバナリ印度ハ海港ニ達スル鐵道ヲ有スルヲ以テ錫蘭ハ海路歐州ニ近キヲ以テ何レモ茶ノ競争ニ於テ遙ニ支那ノ上ニ在リ

斯クテ支那茶ノ輸出ヲ減シ人民ノ損失ハ言ヲ待ズ政府ハ輸出茶ニ重稅ヲ課シ之ヲ歲入トナシタルヲ以テ亦損害ヲ蒙リタル然ルニ西比利亞鐵道ノ竣工ハ支那茶ヲ歐州ニ輸送スルノ新捷路ヲ開クモノナル上ニ茶ヲ陸地ニ由テ輸送スレバ途中變味ノ患ナキコトハ普ネク人ノ知ル所ナリ支那ハ此鐵道ヲ利用シテ茶業ノ衰勢ヲ挽回スベキノミナラズ支那絹モ此鐵道ヲ經テ歐州ニ達スベシ而シテ露國ノ利益モ支那ニ讓ラザルベク此點ニ於テ兩國利害ヲ同フスルコト固ヨリ明白ナル事實ナリ露國ハ自ラ茶ノ大消費者ナレバ亦支那茶ヲ飲用スルナラン綿類、毛類金屬具ニシテ從來英獨其他ヨリ支那ニ輸入シ來リタルモノモ亦此鐵道ニ由テ輸送セラルベクユーラル、マウンテンノ工場モ又西比利亞ノ工場モ歐洲ノ競争者ヲ壓倒スルヲ得ベク西比利亞ハ大繁昌ノ新紀元ヲ開クベシ亞比利亞ハ農産、鑛産ニ富ミ鐵道ノ河川ヲ渡ル所ハ航海ニ適スル部分ナルヲ以テ物品ヲ全國ニ配分スルコト頗ル容易ナルコトナラン

西比利亞鐵道ハ歐洲ト京亞トノ間ニ於ケル最捷路タルベク本年一月一日前該鐵道ノ西部ニ於ケル列車ハ一時間二十八、キロメートル(約一七哩四)ノ平均速度ヲ以テ走行セシガ爾後平均速度三十三、キロメートル(約二十哩半)ノ急行(?)列車ヲ加ヘタリ現今モスコウヨリオムスクニ達スルニハ四日以内ニテ足り途中列車ノ乗換ヲ要セズ別林ヨリモスコウニ達スル



ニハ四十二時間聖彼得堡ヨリハ十四時間ニテ足レリトス又別林ヨリイルクツクニ達スルニハ八日半乃至九日ヲ要シ別林ヨリ日本海ノ浦塩ニ達スルニハ約十四日ヲ要スベキモ或ハ十二三日間ニテ十分ナルヤモ知ルベカラズ

歐洲ヨリ日本横濱ニ達スル諸線路ヲ比較スレバ西比利亞線ノ最モ優レルヲ視ル今ペンシユラ、エンド、イリエンタル汽船會社ノ汽船ヲ用非倫敦ヨリブリンヂシトスエズヲ經テ横濱ニ至ランニ倫敦香港間ノ航海ニ三十四日乃至三十七日ヲ要シ一兩日間香港ニ碇泊シ夫ヨリ横濱ニ至ルニ六日乃至八日ヲ要スルヲ以テ合計四十一日乃至四十七日ヲ要スルナリ次ニ北獨逸ロイドノ汽船ヲ用非伊國ネブルスヲ經テ別林ヨリ横濱ニ達スルニハ四十二日ヲ要ス次ニ倫敦ヨリ加奈陀ヲ經テ横濱ニ達スルニハ現時二十九日乃至三十日以上ヲ要セザルベシ然レモ西比利亞鐵道竣工セバ別林ヨリ横濱ニ至ルニ唯十八日乃至二十日ヲ費スニ過ギザルベキヲ以テ之ヲ加奈陀線ヲ經過スルニ比スルニ尙十日或ハ十一日ヲ短縮スルナリ而シテ浦塩日本間ニハ快走汽船ノ航海ヲ開始スル者アルベク又桑港ヲ發シテ太平洋ヲ通過スル新航路モ開カルベク已ニ米、露ノ資本家ハ此新線路ヲ設ケントテ會社創立ヲ打合セタリト云フ

左レバ此鐵道ハ世界ニ關スル重要工事ニシテ一方ニハ支那日本ノ貨物ヲ輸出スル新要路タルベク一方ニハ歐洲ノ製造品ヲ特ニ露國ヨリ蒙古滿州等へ輸出スル要路タルベク又此鐵道ハ露國ヲシテ政治上并ニ軍事上絶東ニ對シテ重キヲ成サシムルノ外旅客運搬上無限ノ効用ヲ現ハスナラン

因ニ記ス露國政府ハ西比利亞ニ移住スル者ニハ土地ヲ給與シ鐵道運賃ヲ低減シ以テ移住
 ヲ獎勵セシニ其効驗極メテ著ルシク無數ノ移住人潮ノ如ク押寄せ遙ニ鐵道ノ運搬力ニ超
 過スルニ至レリ千八百九十六年一月以降五ヶ月間ニ於テ唯チエリアピンスクヲ通行セシ
 人員ノミニテ已ニ十七万人ノ多キニ至リ鐵道線路ノ西部ニ沿フテ市府ノ創建セラル、モ
 ノ頗ル多シ政府ハ穀物ノ收穫將來大ニ増加スベキヲ察シオビ(Obe)河トドウ井ナ(Dwina 河
 トノ連絡鐵道ヲ造築シツ、アリ是レ露西亞ヲ經テホルチツク海又ハ黑海ニ輸送スルキハ
 入費ノ嵩ムヲ以テナリ又此兩河ヲ改良シテ益々航行ニ適セシムル爲巨額ノ資金ヲ引キ充
 テタリ(本年三月廿日ノサイエンチフイツク、アメリカン及同廿七日ノサイエンチフイツク
 アメリカン附録)

○墨西哥ノ築港

墨西哥國ノ西海岸ナルマザトランハ一萬五千乃至二萬人ノ人口ヲ有シ
 鑛產物并ニ農產物ニ富メル地方ノ中心ナルヲ以テ近時墨西哥政府ハ其改築ヲ計畫シテキサズ
 ナルガルヴエストンノオーコンノル、エンド、スムート社ニ工事ノ請負ヲ許可シ同社ト共ニ其
 測量ニ着手セントセリ而シテ其工費ハ墨貨一千五百万乃至二千万弗ノ豫算ナリト云フ又亞
 米利加土木會々員ニシテヴエラクルーズノ築港工事長ロツトノスキー氏ハキユリアカント
 オクシデンタル鐵道ノ西部終點タルアルタ、ヲ改築シテ其水深ヲ増スコトハ爲シ得ベキ工
 事ナルコトヲ報告シツ、アリト云フ(サイエンチフイツク、アメリカン)

○獨逸東北海運河ノ航通速力

同運河會社ハ危險豫備ノ爲メ今後運河通行ノ船舶ハ八ノ
 ヲツト以上ノ速力ヲ以テ航行スルコトヲ得サルコトニ決シ諸船舶ハ同會社ノ水先案内ノ指示